



入院で対応できることが患者の安心感につながる



リニューアルされた緩和ケア病棟



スタッフ皆で患者一人ひとりの治療方針を話し合う



患者・家族のための談話スペースも

患者さん、ご家族と一緒に一生懸命に対処していきます」  
三浦病院では、大学病院などでの研究と診療経験を積み重ねてきた菊岡医師を含め、スタッフ皆が痛みの治療とケアの経験を重ねてきた。治療の中心は、医療用麻薬（モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルなど）を含めた様々な鎮痛薬だが、医療用麻薬だけではコントロールが難しいような強い痛みが出る場合も

ある。このような痛みに対してはも医療用麻薬と他の薬を適切に組み合わせることなどによって、より安全に患者の苦痛を取り除くための努力を続けている。  
**早期からの治療でがん治療を支える**  
緩和ケアというと、治療の手立てがなくなった患者を対象とするというイメージがまだに強い。そうしたケースだけではなく、がんがんと診断された時点から必要に応じて提供することの大切さも同院では重視してい

る。それが、苦痛で抗がん剤治療を中断した患者を受け入れ、再開できる状態まで改善させるなど、治療自体の支援にもなるという。「まずは主治医の先生とがん治療をどうしていくのかを優先して考えてください。もし、痛みなどの苦痛が強くなったらその治療を我々が提供する。そうした組み立てで考えています」。一環として、痛みの治療だけでなく、抗がん剤などの治療中に生じた悩みをすぐに相談できる身近な病院でありたいと、

菊岡医師は考えている。  
こうした適切な緩和ケアを提供するためにも、緩和ケアを特別な治療と考えることなく、早めに関わり合いを希望し、菊岡医師は強調する。ある程度進行したがんは病状が急激に変化することがある。早い段階で一度来院すれば、その対応も含めて相談できるという。「何らかの苦痛が生じた際に相談していただいても良いのですが、そうでなくとも何かあった時に備えて気軽に相談ください」  
取材／鈴木健太

## 適切な痛みの治療を軸に がん治療開始からの緩和ケアで 患者の生活を支える



### 医療法人社団サンセリテ 三浦病院

診療科目：内科、緩和ケア内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科  
〒354-0004  
埼玉県富士見市下南畑3166  
TEL.049-254-7111  
FAX.049-254-2707  
http://s-miura.com/

副院長・緩和ケア病棟 医師  
**菊岡 修一**

きくおか・しゅういち ●医学博士。千葉大学医学部卒業、千葉大学医学部附属病院、厚生労働省健康局がん対策推進室、独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科、昭和大学横浜市北部病院緩和医療科講師などを経て現職。



2019年1月～12月 入院患者数

|          |     |
|----------|-----|
| 脳腫瘍      | 3   |
| 悪性リンパ腫   | 5   |
| 頭頸部がん    | 12  |
| 肺がん      | 36  |
| 乳がん      | 19  |
| 食道がん     | 10  |
| 胃がん      | 18  |
| 大腸がん     | 20  |
| 胆のう・胆管がん | 10  |
| 膵臓がん     | 38  |
| 肝臓がん     | 11  |
| 腎臓がん     | 2   |
| 腎盂がん     | 2   |
| 前立腺がん    | 6   |
| 子宮がん     | 5   |
| 卵巣がん     | 3   |
| 悪性黒色腫    | 1   |
| 多発性骨髄腫   | 1   |
| 肉腫       | 4   |
| 原発不明がん   | 2   |
| 合計       | 208 |

### 外来や在宅診療、入院と さまざまな形で緩和ケア

近年、がんに伴う体や心の痛みを和らげる緩和ケアの重要性が高まっている。肝臓がんの動注化学療法に実績のある病院として全国的にも知られる埼玉県富士見市の三浦病院は緩和ケア治療にも力を入れ、2015年2月に専用病棟を開設した。「当院はがん治療病院として、患者さんが日常で困るさまざまな症状や悩みに対処してきた実績があります。それをもとに痛みや苦しさで困っている方を手助けしたいと思い、緩和ケアを強化してきました」と、菊岡修一医師は説明する。

同院では外来診療や在宅診療、33床の病棟を生かした入院治療と、あらゆる形で緩和ケアを提供。原則どの種類のがんでも受け入れ、病状や家庭の事情などに応じて対応する。「通院の方や訪問診療の方の多くは、

何かあった時に入院できない状況だと不安を覚えると言います。そうならないよう当院の相談外来を受診された方は24時間365日入院に対応できるようにしています」といざというときの迅速な入院受け入れも可能で、地域の医療機関からの入院患者の紹介も多い。

### 豊富な薬物療法の知識で 痛みの治療を徹底

緩和ケアでは、体の痛みや息苦しさなどの身体的な苦痛、気持ちのつらさや経済的な問題など「がん」という病気に伴うあらゆる苦痛への対処が求められる。それを実現させるのは当然として、とりわけ菊岡医師がこだわるのが、身体的な苦痛、すなわち痛みを取り除くことだ。「体の痛みがあまりに酷ければ、気持ちのつらさなど他の苦痛を意識することさえできません。まずはその治療を優先しながら、他のつらさについても